

令和 3 年度

野木沢地区自治協議会 総会



藤田城跡



小和清水



鉾石水



令和 4 年 4 月 16 日 (土)

午後 7 時 00 分

野木沢自治センター

野木沢地区自治協議会総会次第

進行：

1. 開 会

2. あいさつ

3. 議長及び議事録署名人の選出

4. 議 事

議案第1号 令和3年度事業報告について

議案第2号 令和3年度決算報告について

監査報告

議案第3号 令和4年度事業計画（案）について

議案第4号 令和4年度事業収支予算書(案) について

議案第5号 規約の一部改正（案）について

議案第6号 役員選任（案）について

5. 新役員あいさつ

6. 閉 会

理念

野木沢地区自治協議会の理念

みんなの英知で、
住み良い豊かな、
魅力ある地域を創ろう。

目標

野木沢地区自治協議会の目標

1. 子どもの声が響く地域
2. 健康で生きがいを感じる地域
3. 働き甲斐と潤いを感じる地域
4. 共に支え合い希望と絆を感じる地域
5. 立地条件（地域特性）を活かした地域、未来づくり

令和3年度事業報告について

野木沢自治協議会事業報告

月 日	時間	活動内容	所属部会名
4月5日	9時00分	野木沢駅環境整備協力会総会	総務地域づくり部会
4月6日	6時30分	自治センター企画推進委員会	総務地域づくり部会
4月8日	6時30分	野木沢地区自治協議会理事会	総務地域づくり部会
4月9日	19時00分	交通安全野木沢分会	安全安心部会
5月6日	13時00分	野小っ子クラブ	教育学習部会
5月23日	7時00分	まちづくり委員会	総務地域づくり部会
5月25日	18時30分	自主防災組織結成説明会	総務地域づくり部会
6月1日	19時00分	U50まちづくり集会事業第1回ワークショップ	総務地域づくり部会
6月7日	19時00分	サークルひまわりセンター掃除	総務地域づくり部会
6月15日	19時00分	安全安心部会安協分会役員会	安全安心部会
6月17日	17時15分	野木沢自治センターパソコン教室	総務地域づくり部会
6月20日	5時30分	まちづくり委員会藤田城跡花植え	総務地域づくり部会
6月24日	17時15分	野木沢自治センターパソコン教室	総務地域づくり部会
6月24日	10時30分	野木沢自治センター消防訓練	安全安心部会
7月1日	19時00分	野木沢自治センターパソコン教室	総務地域づくり部会
7月4日	9時00分	野木沢自治センター周辺整備	総務地域づくり部会
7月8日	19時00分	野木沢自治センターパソコン教室	総務地域づくり部会
7月10日	5時30分	学校田整備	総務地域づくり部会
7月16日	19時00分	安全安心部会	安全安心部会
8月3日	19時00分	敬老会実行委員会	福祉部会
8月6日	19時00分	野木沢地域福祉ネットワーク事業推進会議	福祉部会
8月7日	6時00分	野木沢駅環境整備協力会	総務地域づくり部会
9月1日	19時00分	標語コンクール審査会	安全安心部会
9月9日	19時00分	企画推進委員会	総務地域づくり部会
9月14日	19時00分	文化祭実行委員会	総務地域づくり部会
9月16日	19時00分	安全協会野木沢分会役員会	安全安心部会
9月19日	9時00分	安全協会野木沢分会	安全安心部会
9月21日	9時30分	1層・2層9月定例会議	福祉部会
9月23日	19時00分	U50まちづくり集会事業第2回ワークショップ	総務地域づくり部会
10月14日	13時30分	一層二層定例会議	福祉部会
10月15日	18時00分	ミニディのぎさわの会役員会	福祉部会
10月15日	19時00分	石川町防災計画及び防災マップ等説明会	総務地域づくり部会
10月15日	19時30分	野木沢地区まちづくり委員会役員会	総務地域づくり部会
10月30日	8時45分	地区文化祭	総務地域づくり部会

10月31日	8時45分	地区文化祭	総務地域づくり部会
11月4日	9時00分	野木沢小学校希望ヶ丘環境整備委員会	総務地域づくり部会
11月15日	18時30分	館内大掃除(サークルひまわり)	総務地域づくり部会
11月18日	17時15分	パソコン教室	教育学習部会
11月19日	18時30分	野木沢小学校希望ヶ丘整備	総務地域づくり部会
11月25日	17時15分	パソコン教室	教育学習部会
11月26日	18時30分	福祉部会、協議会役員、民生児童委員合同会議	福祉部会
11月26日	10時00分	一層、二層会議	福祉部会
12月2日	18時30分	後期パソコン教室	教育学習部会
12月4日	9時00分	野木沢小学校希望ヶ丘環境整備委員会	総務地域づくり部会
12月5日	6時30分	野木沢駅環境整備協力会	総務地域づくり部会
12月9日	18時30分	後期パソコン教室	教育学習部会
12月11日	8時00分	野木沢小学校希望ヶ丘環境整備委員会	総務地域づくり部会
12月14日	9時00分	モノづくり教室	教育学習部会
12月14日	9時00分	モノづくり教室	教育学習部会
12月16日	19時00分	U50まちづくり集会事業第3回ワークショップ	総務地域づくり部会
12月19日	9時00分	野木沢地区自治協議会防災訓練	安全安心部会
12月21日	9時00分	モノづくり教室	教育学習部会
12月25日	9時00分	書き初め大会練習	教育学習部会
1月5日	9時00分	書き初め大会	教育学習部会
1月11日	9時30分	行灯づくり	教育学習部会
1月14日	19時00分	野木沢分会	安全安心部会
1月15日	18時00分	書初め展準備	教育学習部会
1月16日	8時30分	書初め展	教育学習部会
1月16日	8時30分	書初め展示片付け	教育学習部会
1月18日	9時00分	行灯づくり	教育学習部会
1月23日	18時00分	書初め展示片付け	教育学習部会
2月1日	9時30分	行灯づくり	教育学習部会
2月12日	17時15分	安全安心部会分会役員会	安全安心部会
2月14日	19時00分	U50まちづくり集会事業第4回ワークショップ	総務地域づくり部会
2月17日	17時15分	企画推進委員会役員会	総務地域づくり部会
2月18日	17時15分	自治協議会役員、福祉部会、民生委員合同役員	総務地域づくり部会
3月12日	16時00分	安全安心部会(安協分会総会)	総務地域づくり部会
3月17日	9時00分	自治協議会監査(部会団体監査)	総務地域づくり部会

令和 3 年度 野木沢地区自治協議会事業実績報告書

野木沢自治センター

No.	事業名	学習目的 (PLAN)	学習内容 (DO)	事業期間 及び回数	参加 人数	反省：評価（5段階） (CHECK) (ACT)	
1	のぎさわこども広場	子供たちが参加し易く、自然の仕組みを科学し、他人を思いやる心を養い、地域の人々に支えられている事を自覚し感謝する心を養う。	書初め等 防犯交通安全パレード等 放課後児童支援事業（野小っ子） 野木沢小学校希望ヶ丘環境整備	12月～1月 9月 4月～3月 12月	4761	地区青少協、地域子ども育成会の自主活動を側面から支援し、各施策に於いて参加者児童 47 名参加した。 交通安全パレードは参加団体や学校関係者との調整を図った結果、コロナウイルス対策が困難なため中止となった。 野小っ子クラブに遊具支援 野小っ子クラブ（センター事務局）一日平均預かり児童平均 50 名を超えている。 見守りボランティアの方が追いつかない状態になっている。これらについては、地域に協力を願い随時見直しを図っていく。 野木沢小学校希望ヶ丘環境整備を 12/11 自治協議会長中心に小学校教職員、PTA、各区役員、PTA 会長 OB OG 計 60 名参加し行うことが出来た。	4
2	手づくり教室インのぎさわ	男女共同参画型社会の実践と個人の持ち味を生かした自己研鑽に寄与し、各事業を自主的企画運営方式で進めながら、住み良い地域づくりを促進する事業を行う。	料理教室 ※文化財等を求めている移動研修 1 回 趣味、芸術、文化講座 ものづくり移動教室	5月～3月 4月～2月		料理教室は、毎月の定例会を開催できなかった。又伝統的食の事業を推進する地域の視察研修も中止とした。 ものづくり体験移動教室も、毎年文化祭に向けた手ひねりに取り組んできたが感染拡大防止を考慮し中止とした。	4

			行灯づくり教室 「クリスタルアロハ」 「太極拳教室」	12月～1月 4月～3月 4月～3月	9 268 331	ものづくり教室（行灯づくり）開催することが出来た。伝統を守る教室を開催したい。 クリスタルアロハ、太極拳は、各種イベント等へ参加してきたが今年は、感染拡大防止を考慮し出来なかった。	
3	地区公民館活動育成事業	各地区公民館の自主的な運営活動を支援し、生涯学習の推進を図る 各地区の団体活動の統廃合も検討	3地区公民館の活動を支援、 各運営事業運営の支援。	5月～2月		地域公民館活動感染拡大防止を考慮し活動自体自粛したためその事業自体に応援できなかった。	
4	高齢者生涯事業の推進	自らの生きがいを高め健康づくりと、ボランティア活動並びに会員相互の親睦を深めると共に、地域に貢献できるよう努める。 心身ともに健康で、活動を通じ終目標は「健康長寿」増進に繋げる。 自らが心身ともに健康な社会生活を送るため、高齢者の生きがいづくりを推進する。 また、活動を推進するため長寿会組織強化と会員増加を支援する。	地域長寿会事業への支援 春秋ゲートボール大会、 春秋グラウンドゴルフ大会、 ミニディサービス事業への支援 介護予防事業の出前講座 （保健センターと共同）で健康講座 地区各種団体と協力し草花植栽等の地域美化等の運動の支援 長寿会事業・活動の推進と協力支援	5～11月 同上 7、8月 7/31	238	長寿会活動の自主性を育成し、学習活動、健康づくり活動、仲間づくり活動及び各事業を支援した。 ミニディサービス事業は中止 野木沢地域福祉ネットワークは、8/6開催できた。 地域の公共施設、通学路、道路沿道に花壇を作り植栽することができた。 長寿会の事務を自治センター行い事業の遂行に協力できた。	4
5	野木沢地区文化祭	・地区民の芸術文化作品等を一堂に展示し、地域ぐるみで芸術文化に対して相互理解を深める。 野木沢小学校児童との連携 まちづくり委員会との連携	山野草展、さつき展、書初め展の開催 地区文化祭は野小屋体を会場に手芸、各長寿会等の作品、作品展示	10/30～31	182	保育所、長寿会、遊墨会、山野草、盆栽展、サークルひまわり、展覧会実施。 今年は地区文化祭単独で行った。 地区文化祭同時開催、野小フェスティバル（児童の発表会）、町づくり委員会とのコラボは中止となった。	4
6	のぎさわ地区芸能祭	日頃の練習の成果の発表、参加者相互の交流と地区民の親睦を深め販売コー	各種団体、サークル等発表会 農作物の販売を予定した。	7月4日		8年目となる地区芸能祭は、感染拡大防止を考慮し今年も中止とした。	—

		ナーを設けるなど地域の活性化を図る。	子どもコーナーを設置（うさぎ）予定した。				
7	野木沢地区まちづくり委員会との連携 集いの場づくり	・委員会及び各部会と連携し地域活性化に取り組み協働の地域づくり、まちづくりを推進する。 コモドカフェオープン R3.6	特産品部会ふじわちゃん地区特産品の試作、各イベントでの販売 のぎさわときめき交流祭参加 ほか 特産品部会コモドカフェ	4月～3月 11月 6月～3月	860	野木沢加工場ふじわちゃんは、感染拡大防止を考慮し各イベントでの販売は参加しなかった。 文化祭とのコラボレーションは出来なかった。 野木沢駅前にオープンし地区の集いの場になっている。	4
8	野木沢自治センター（企画推進委員会）	・センター事業の基本組織となり地域づくり事業と推進する。	・センター企画・立案・実践 効果の確認 ・センター事業の計画実施 ・各種団体の連絡調整	通年	40	企画推進委員会は計画、その実践大いに企画・立案したが新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し計画を大幅に縮小することとなった。	4
9	センターだよりの発行	センター事業を広く地区民へ紹介し、地域情報を提供するとともに事業の周知を図る。	毎月1日に発行	通年	12回	毎月発行できた。	4
10	オータムフェスタ参加	まちづくり委員会等と協力し野木沢地区を広く周知に努める。	中止	年1回	中止	イベント中止	
11	地域各種団体への支援	交通安全協会 母の会 青少年健全育成推進協議会野木沢地区協議会 保健協力委員会 防犯協会	・交通安全総ぐるみ運動外 ・防犯交通安全パレード等 ・青少協、 各区子ども育成会事業の支援他 ・ミニディサービスの参加、実施など 夏季防犯巡回運動,野木沢地区交通安全・防犯標語コンクールの参画,その他安		88	交通安全パレード感染拡大防止を考慮し中止 青少協、地域子ども育成会の自主活動を側面から支援した。 ミニディのぎさわの会は、一度も開催出来なかった。 防犯巡回運動R3.7.20～8.31 まで週2回行った。火災・防犯・交通安全標語コンクー	4

		野木沢地域福祉ネットワーク事業 各種団体行事日程調整会議	全安心に資する事業の支援 ・支援体制を構築、事件・事故の未然防止事業の展開、 ・各団体活動の相互理解と協力を図り、各団体の活動が重複しないように日程調整を図る	2月		ルも行った。 2021/8/6 野木沢地域福祉ネットワーク事業推進会議開催した。出席者 23 名参加。 R3.8 月に野木沢地域福祉ネットワーク事業推進パンフレットの回覧 概ねの行事及び活動日程は、各団体の計画に合わせ調整できた。	
12	野木沢地区自治協議会	地区の歴史・伝統を大切にし、豊かな自然環境を生かし住民相互理解を深め・協力し地域の将来像を描き、その実現に向け魅力ある地域づくりを構築するための組織づくりを推進する。	協議会組織づくり等の具体的推進体制確立と住民総意の高揚を図る。 目標の策定と事業評価	各部会 2 回	130	野木沢地区自治協議会では各部会、協議を重ね計画策定及びそれらの事業評価に取り組んだ。	4
13	地区敬老会	・地域社会に貢献されてきた高齢者を敬愛し、高齢者福祉に関心と理解を深める契機とする。	・敬老会実行委員会 ・敬老対象者の招待 ・式典、祝宴及びアトラクション (式典はなし、記念品配布)	8月 9月	23 386	敬老会実行委員会 8月3日開催できた。 今年は、式典は中止し記念品配布、民生児童委員及び区役員により各記念品を敬老者全員に配布できた。(386名に配布)	3
14	自治センター 利用団体・サークル等の育成 強化	芸術・文化・健康づくり・ボランティアグループ等々の自主的団体を支援し 会員相互の親睦と交流を深め、地域社会活動参加を助長する。	▼中野長寿会グラウンドゴルフ：毎週月曜日、水曜日午前 8：30～ ▼中野長寿会カラオケ教室：毎週木曜日午前 8：30～ ▼野木沢グラウンドゴルフ愛好会：毎週火曜日、木曜日、金曜日午前 9 時～ ▼琴桜会：毎週金曜日午前 9：00～		3313	それぞれの団体、サークルが感染拡大防止を考慮しながら自主的活動を行い、社会教育事業や社会体育事業等の生涯学習活動拠点となっている。	4

			▼ 3 B 体操教室：第 1・第 2 水曜日午後 7：00～ ▼中野いきいき運動サロン：毎月第 2. 第 4 金曜日午前 9：30～ ▼ひばりカラオケ愛好会：毎週金曜日午後 1：30～ ▼野木沢太極拳教室：毎週木曜日午後 7：00～ ▼料理教室：毎月第 2 火曜日料理教室事前会議午後 7：00 ▼書き方教室：毎月第 2. 第 4 木曜日午後 7：00～ ▼クリスタルアロハ：毎月第 2. 第 4 水曜日午後 6：00～ ▼菊地章夫カラオケ教室：毎月第 2・第 4 火曜日午後 7：00～ ▼サークルひまわり：毎週月曜日午後 7：00～ ▼野木沢加工所：毎月第 1 土曜日午後 7：00～				
--	--	--	--	--	--	--	--

			▼生花教室：毎月第 2 木曜日午前 10：00～ ▼健康マージャン教室：第 1・第 3 火曜日午後 1：00～ ▼野木沢スポーツ少年団：毎週土・日午前 8：30～				
15	自治センター施設環境整備	施設の整理整頓及び周辺環境の整備を各種団体と協力し内外周辺の美化に努める。	施設の整理整頓 施設周辺の美化 グラウンドの整地及び周辺整備	通年	1843	スポ小、長寿会、愛好会等がグラウンドの石拾いや整備を行った。 7/4 センター入口の両サイドの木が大きくなりビックスネーク団体の協力により整備できた。	5
16	地区防災訓練の実施	地震、火災、自然災害など不慮の災害に備え命を守る訓練を行うことを目的	野木沢地区自治協議会 安全安心部会 所属野木沢分団中継訓練及び支援隊合同訓練	通年	19	野木沢駅前スタート聖徳寺前池起点野木沢自治センターグラウンド外周道路において訓練を行った。	5

議案第2号-1 令和3年度 決算報告について
令和3年度 野木沢自治センター事業収支決算書

【収入】 (単位；円)

区分	収入額 (円)	内 訳
地域自治活動交付金	770,000	事務費200,000 企画推進委員会120,000 生涯学習300,000 部会加算150,000
繰越金	83,242	前年度繰越金
雑入	205,146	3区助成金65,000円、安協助成金30,000円、運動会協力金30,000円 野木沢駅環境補助18,000円 受取利息20円、パソコン教室テキスト代として1,000円×11名 パソコン教室テキスト代として1,000円×10名、及び印刷代金31,126円、第11工区水利組合用紙及び印刷代10,000円
合計	1,058,388	

【支出】 (単位；円)

事業名		決算額 (円)	内 訳
事業費	事務費	155,143	印刷機リース料、インク、マスター、コピーカウンター料
	報償費	140,000	企画推進委員手当120,000円 モノづくり教室講師料20,000円
	消耗品費	154,013	消毒アルコール ラベルシート 封筒 ファイル コピー用紙 ペーパータオル
	食糧費	33,800	自主防災組織結成説明会茶菓代 来客用麦茶 来客用インサートカップ
	備品費	46,941	桜枝切除ハサミ、花壇用冠水ホース、カラープリンター (canon ix6830)
	委託費	0	
	借り上げ料	6,000	自治センターグラウンド砂入れ作業代
	図書購入費	36,660	新聞購読料 (夕刊、町民)
	通信費	47,626	会議通知(招集通知) 郵便切手、はがき
	各所修繕費	44,331	障害者トイレ蛇口修理、自治センター軒下壁穴修理コーキング代、環境整備用2サイクルガソリン代
	事業運営費	306,454	パソコン教室USBメモリー、文化祭不織布、運動会協力金、モノづくり教室 (行灯づくり) 教材代他
合計		970,968	

収入金額 1,058,388円 - 支出金額 970,968円 = 差引残額87,420円
差引残額 87,420円 は、次年度へ繰り越し致します。
令和4年4月16日

野木沢地区自治協議会

会長 有賀正一



監査報告

令和4年4月5日、野木沢自治センターにおいて会計簿並びに領収書、現金を監査した結果、適正に処理されていることをみとめましたので報告致します。

令和4年4月16日

監事 二瓶清正

監事 円谷和司

監事 有賀宏治



令和3年度 敬老会事業収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	収入額（円）	内 訳
地域自治活動交付金	183,000	石川町より
雑入	0	
繰越金	143,736	前年度より
合計	326,736	

【支出】

(単位：円)

事業名	区分	決算額（円）	内 訳
敬老会費	消耗品費	0	
	食糧費	4,200	敬老会実行委員会茶菓代
	借上げ料	30,000	記念品配布借り上げ料
	通信費	2,943	クラフト封筒（メッセージ配布用）
	事業運営費	193,000	敬老会ギフト券（さくらカード）386人×500円
合計		230,143	

収入金額 326,736円 -支出金額 230,143円 =差引残額96,593円

差引残額 96,593円 は、次年度へ繰り越し致します。

令和4年4月16日

野木沢地区自治協議会

会 長 有 賀 正 一



監 査 報 告

令和4年4月5日、野木沢自治センターにおいて会計簿並びに領収書、現金を監査し、

結果、適正に処理されていることをみとめましたので報告致します。

令和4年4月16日

監 事 二瓶清正

監 事 円谷和司

監 事 有賀宏治



令和3年度 まちづくり委員会事業収支決算書

【収入】					(単位：円)
区分	予算額（円）	収入額（円）	増減	内 訳	
地域自治活動交付金	1,280,000	1,280,000	0	まちづくり交付金1,200,000円 小和清水管理80,000	
繰越金	692,767	692,767	0	前年度繰越金	
雑入		364,697	364,697	イチジク売上金額	
合計	1,972,767	2,337,464	364697		

【支出】						(単位：円)
事業名	区分	予算額（円）	決算額（円）	増減	内 訳	
事業費	野木沢駅活性化事業（イルミネーション）	70,000	70,000	0	イルミネーション工事代	
	のぎさわときめき交流祭	150,000	0	△ 150,000		
	簡易直売所事業	260,000	621,389	361,389	カタログスタンド 店舗賃料 漏水工事 カーテン	
	特産品開発事業（地場産品利用）	100,000	33,948	△ 66,052	ガラス破損ガラス交換代 案内旗ポールスタンド補填	
	イチジク生産事業	340,000	261,208	△ 78,792	苦土石灰、黒マルチ 重機代 堆肥	
	イチジク新植事業	109,600	125,310	15,710	堆肥 薬剤 バックホー トラクター	
	鉾石水周辺整備事業・禿山遊歩道整備事業	128,000	129,140	1,140	草刈り 機械借上げ、農薬代 植木剪定 水質検査料	
	小和清水管理	80,000	80,000	0	小和清水管理	
	小和清水周辺整備事業	130,000	123,900	△ 6,100	除草剤 牛糞 カルチ借用 黒マルチ	
	藤田城址整備事業	80,000	30,000	△ 50,000	藤田城整備工事	
	ホームページ更新事業	43,740	43,960	220	ホームページ更新料	
	U50まちづくり集会事業	40,000	43,088	3,088	U-50まちづくり集会 茶菓代	
	人材バンク登録	0	0	0		
	学校支援事業	20,000	17,160	△ 2,840	野小卒園満了記念品	
	希望が丘整備事業	32,800	100,568	67,768	ガソリン オイル ダンプ代 重機代	
	放課後児童支援事業	75,000	75,623	623	クリスマス会（1年から6年生対象）	
	部会会議（上・下半期）	10,000	0	△ 10,000		

全体会（理事会、総会）	10,000	0	△ 10,000	
曲木部会	0	0	0	
P T A	0	0	0	
保育所	0	0	0	
野所っ子クラブ	220,000	126,504	△ 93,496	施設消毒アルコール ボランティア謝金
予備費	73,627	26,261	△ 47,366	各打ち合わせ会議通知 茶菓代
合計	1,972,767	1,908,059	△ 64,708	

収入金額2,337,464円 - 支出金額 1,908,059円 = 差引残額429,405円

差引残額429,405円 は、次年度へ繰り越し致します。

令和4年4月16日

まちづくり委員会

委員長 近 内 光 慶



監 査 報 告

令和4年4月5日、野木沢自治センターにおいて会計簿並びに領収書、現金を監査した結果、適正に処理されていることをみとめましたので報告致します。

令和4年4月16日

監 事 二瓶清正

監 事 円谷和司

監 事 有賀宏治



令和4年 月 日

石川町長 塩田金次郎 様

申請者 団体名 野木沢地区自治協議会
代表者氏名 会長 有賀正一 ㊞

地域自治活動交付金繰越協議書

令和3年度において、交付を受けた地域自治活動交付金を令和4年に繰り越したい
ので、石川町地域自治活動交付金要綱第8条の規定により、下記のとおり協議します。

記

1 繰越協議額 613,418 円

2 繰越内容 単位:円

事業名及び内容	交付額	その他収入額	決算額	繰越額
生涯学習費(事務費含む)	770,000	205,146	970,968	4,178
敬老会費	183,000		230,143	-47,143
町づくり事業	1,280,000	364,697	1,908,059	-263,362
雑入			0	0
前年度繰越金(センター)		83,242	0	83,242
前年度繰越金(敬老会費)		143,736	0	143,736
前年度繰越金(まちづくり)		692,767	0	692,767
合計	2,233,000	1,489,588	3,109,170	613,418

3 繰越理由

翌年度の事業費として繰越ししたいため。

令和 4 年度

自治センター事業計画書

令和4年度

野木沢地区自治協議会事業計画

運営方針と努力目標

◎ 運営方針

急速な変革を遂げる現代社会の中で時代に即応した「地域づくり、人づくり、物づくり」に対応するため、自治センターが地域の社会教育・生涯学習の場として、地区民のだれもが、何時でも学び、ものづくりや各種事業・研修等ができる地域のより所（茶の間）としての自治センター運営に努める。

◎ 努力目標

1. 社会教育の充実

- ①男女共同参画社会の実現や高齢化社会への対応など、現代的課題について各種学級、講座や研修を通して、広く社会教育の重要性について意識の高揚を図り、指導者やリーダーの育成にも努める。
- ②社会教育関係団体や各種サークル・自主的団体の育成、支援に努め、ボランティア活動を含めた、地区民自らが実践する社会参加活動の推進を図る。
- ③現代社会のかかえる課題に積極的に取り組み、社会に即応できる地域住民の育成に努める。
- ④世代間の交流の場や機会の提供に努める。
- ⑤余暇利用と趣味・健康で豊かな人間性の育成に努める。
- ⑥スポーツ活動を通し心身共に健康で仲間づくりができるよう支援活動に努める。

2. 青少年教育

- ①心身ともに健全な青少年を育成するため環境の整備を図り、家庭・地域・学校との連携に努める。
- ②青少年が地域の諸行事に積極的に参加し、地域文化の伝承、発展に寄与できるよう努める。
- ③子どもたちが多様な体験活動、ボランティア活動を通し豊かな情操、知識を身につけることを推進する。
- ④健全な青少年を育成するため、各種団体等の連携を図り、各種研修会や講座の実践に努める。

3. 女性社会参加環境づくり

- ①各種サークル等のグループの育成と事業等の育成に努める。
- ②男女共同参画社会の中で女性としての社会参加や地位の向上に努める。

4. 高齢者教育

- ①健康維持、増進のために年齢、体力に適した研修とスポーツ活動の継続的な推進に努める。
- ②高齢者団体活動などでの仲間づくり事業を推進し、高齢者相互の交流を図る。

5. 文化活動

- ①優れた芸術・文化に接する機会に努め、自らが活動する場の拡大推進を図る。
- ②既存団体育成と活動の積極的な推進に努める。

6. 文化財の保護と活用

- ①地域の伝承文化や文化財を理解し保護活用を図る。

7. 社会体育

- ①各年齢層に合ったスポーツ活動の拡充に努め、健康の維持増進、仲間づくりを積極的に図る。
- ②指導者養成に努める。

8. 広報活動

- ①センターだよりを定期的に発行し、活動内容や事業等を地区民に広く周知し、理解と協力のもと各種事業活動等への積極的な参加と地域意識の向上に努める。
- ②各種団体の活動内容を紹介し、団体の育成と生涯学習活動の啓発に努める。
- ③まちづくり委員会等との連携をはかり広報活動とおし地域活性化に努める。
- ④野木沢地区自治協議会ホームページを常に更新し地域活動及び地域事業を広く紹介していく。

9. 社会教育団体等との連携

- ①各種団体（愛好会・サークル等）及び各地区公民館と連携を図り、各種団体の育成と自主活動の推進に努める。
- ②各種団体の事業日程が重複しないよう日程調整会議を開き、地区内の行事等の調整を図る。

10. 自治センター環境整備

- ①いつでも気持ちよく使用できるよう施設内外の環境の整備に努める。
- ②利用者に「来たときよりも美しく」の気持ちで使用していただき、公共施設としての環境美化に相互理解を得ながら整備に努める。

11. 地域協働の地域自治協議会の促進

- ①令和3年度において長期的展望に立ち確立した中長期野木沢地区の計画（デザイン）を作成し押し進めていく。
- ②人口減少に即応した地域づくりの礎となるべく計画とその財源確保に努める。
- ③野木沢地区自治協議会ボランティア人材バンクの登録と野木沢地区ネットワークを確立し安心して暮らせる地域づくりを行う。
- ④未来を託す子供たちに地域全体で取り組み子育ての環境の充実を図っていく。
 - ・野小っ子の財源の確保も行っていく。
- ⑤自治協議会のより良い運営ができるように務める。
- ⑥まちづくり交付金は、地域に融合し未来展望型を鑑み効果を検証しながら交付金を活用していく。

令和 4 年度事業計画

野木沢自治センター

No.	事業名	学習目的 (PLAN)	学習内容 (DO)	事業期間 及び回数	参加 人数	反省：評価（５段階） (CHECK) (ACT)	
1	のぎさわこども広場	子供たちが参加し易く、自然の仕組みを科学し、他人を思いやる心を養い、地域の人々に支えられている事を自覚し感謝する心を養う。	書初め等 防犯交通安全パレード等 放課後児童支援事業（野小っ子） 野木沢小学校希望ヶ丘環境整備	12月～1月 9月 4月～3月 12月			
2	手づくり教室インのぎさわ	男女共同参画型社会の実践と個人の持ち味を生かした自己研鑽に寄与し、各事業を自主的企画運営方式で進めながら、住み良い地域づくりを促進する事業を行う。	料理教室 ※文化財等を求めている移動研修1回 趣味、芸術、文化講座 ものづくり移動教室 「クリスタルアロハ」 「太極拳教室」	5月～3月 4月～2月 4月～3月 4月～3月			

3	地区公民館活動育成事業	各地区公民館の自主的な運営活動を支援し、生涯学習の推進を図る 各地区の団体活動の統廃合も検討 新型コロナウイルスに負けないための健康づくり	3 地区公民館の活動を支援、各運営事業運営の支援。 5 月～2 月 7 月 体力づくり（尾瀬ヶ原）探索等を計画し地区の方々の参加募集をする。			
4	高齢者生涯事業の推進	自らの生きがいを高め健康づくりと、ボランティア活動並びに会員相互の親睦を深めると共に、地域に貢献できるよう努める。 心身ともに健康で、活動を通じ終目標は「健康長寿」増進に繋げる。 自らが心身ともに健康な社会生活を送るため、高齢者の生きがいをづくりを推進する。 また、活動を推進するため長寿会組織強化と会員増加を支援する。 健康な体やこころを維持するための適度な運動の居場所づくりを行う	地域長寿会事業への支援 春秋ゲートボール大会、春秋グラウンドゴルフ大会、ミニディサービス事業への支援 介護予防事業の出前講座 （保健センターと共同）で健康講座 地区各種団体と協力し草花植栽等の地域美化等の運動の支援 長寿会事業・活動の推進と協力支援 健康体操の新規教室の参加者募集を図ってみる 地区内史跡巡りのウォーキングの参加者募集を図る	5～11 月 同上 7、8 月 7/31 通年		
5	野木沢地区文化祭	・地区民の芸術文化作品等を一堂に展示し、地域ぐるみで芸術文化に対して相互理解を深める。 野木沢小学校児童との連携 まちづくり委員会との連携	山野草展、さつき展、書初め展の開催 地区文化祭は野小屋体を会場に手芸、各長寿会等の作品、作品展示	10/30～31		
6	のぎさわ地区芸能祭	日頃の練習の成果の発表、参加者相互の交流と地区民の親睦を深め販売コー	各種団体、サークル等発表会 農作物の販売を予定した。	7 月 4 日		

		ナーを設けるなど地域の活性化を図る。	子どもコーナーを設置（うさぎ）予定した。				
7	野木沢地区まちづくり委員会との連携 集いの場づくり	・委員会及び各部会と連携し地域活性化に取り組み協働の地域づくり、まちづくりを推進する。 コモドカフェオープン R3.6	特産品部会ふじわちゃん地区特産品の試作、各イベントでの販売 のぎさわときめき交流祭参加 ほか 特産品部会コモドカフェ	4月～3月 11月 4月～3月			
8	野木沢自治センター（企画推進委員会）	・センター事業の基本組織となり地域づくり事業と推進する。	・センター企画・立案・実践 効果の確認 ・センター事業の計画実施 ・各種団体の連絡調整	通年			
9	センターだよりの発行	センター事業を広く地区民へ紹介し、地域情報を提供するとともに事業の周知を図る。	毎月1日に発行	通年			
10	オータムフェスタ参加	まちづくり委員会等と協力し野木沢地区を広く周知に努める。	中止	年1回			
11	地域各種団体への支援	交通安全協会 母の会 青少年健全育成推進協議会野木沢地区協議会 保健協力委員会 防犯協会	・交通安全総ぐるみ運動外 ・防犯交通安全パレード等 ・青少協、 各区子ども育成会事業の支援他 ・ミニディサービスの参加、実施など 夏季防犯巡回運動,野木沢地区交通安全・防犯標語コンクールの参画,その他安全安心に資する事業の支援				

		野木沢地域福祉ネットワーク事業 各種団体行事日程調整会議	・支援体制を構築、事件・事故の未然防止事業の展開、 ・各団体活動の相互理解と協力を図り、各団体の活動が重複しないように日程調整を図る	2月			
12	野木沢地区自治協議会	地区の歴史・伝統を大切に、豊かな自然環境を生かし住民相互理解を深め・協力し地域の将来像を描き、その実現に向け魅力ある地域づくりを構築するための組織づくりを推進する。	協議会組織づくり等の具体的推進体制確立と住民総意の高揚を図る。 目標の策定と事業評価	各部会2回			
13	地区敬老会	・地域社会に貢献されてきた高齢者を敬愛し、高齢者福祉に関心と理解を深める契機とする。	・敬老対象者の招待 ・式典、祝宴及びアトラクション	9月			
14	自治センター 利用団体・サークル等の育成 強化	芸術・文化・健康づくり・ボランティアグループ等々の自主的団体を支援し 会員相互の親睦と交流を深め、地域社会活動参加を助長する。	▼中野長寿会グラウンドゴルフ：毎週月曜日、水曜日午前8：30～ ▼中野長寿会カラオケ教室：毎週木曜日午前8：30～ ▼野木沢グラウンドゴルフ愛好会：毎週火曜日、木曜日、金曜日午前9時～ ▼琴桜会：毎週金曜日午前9：00～ ▼3B体操教室：第1・第2水曜日午後7：00～	通年			

			▼中野いきいき運動サロン：毎月第 2. 第 4 金曜日午前 9：30～ ▼ひばりカラオケ愛好会：毎週金曜日午 後 1：30～ ▼野木沢太極拳教室：毎週木曜日午後 7：00～ ▼料理教室：毎月第 2 火曜日料理教室事 前会議午後 7：00 ▼書き方教室：毎月第 2. 第 4 木曜日午 後 7：00～ ▼クリスタルアロハ：毎月第 2. 第 4 水 曜日午後 6：00～ ▼菊地章夫カラオケ教室：毎月第 2・第 4 火曜日午後 7：00～ ▼サークルひまわり：毎週月曜日午後 7：00～ ▼野木沢加工所：毎月第 1 土曜日午後 7：00～ ▼生花教室：毎月第 2 木曜日午前 10： 00～				
--	--	--	---	--	--	--	--

			▼健康マージャン教室：第 1・第 3 火曜 日午後 1：00～ ▼野木沢スポーツ少年団：毎週土・日午 前 8：30～				
15	自治センター施設環境整備	施設の整理整頓及び周辺環境の整備を 各種団体と協力し内外周辺の美化に努 める。	施設の整理整頓 施設周辺の美化 グラウンドの整地及び周辺整備	通年			
16	地区防災訓練の実施	地震、火災、自然災害など不慮の災害 に備え命を守る訓練を行うことを目的	野木沢地区自治協議会災害時訓練の実 施	通年			

議案第4号-1 令和4年度 予算（案）について

令和4年度 野木沢自治センター事業収支予算書(案)

【収入】

(単位；円)

区分	収入額（円）	内 訳
地域自治活動交付金	770,000	事務費200,000 企画推進委員会120,000 生涯学習300,000 部会加算150,000
繰越金	87,420	前年度繰越金
雑入	95,500	3区助成金65,500円、運動会協力金30,000円
合計	952,920	

【支出】

(単位；円)

事業名	予算額（円）	内 訳
事業費	事務費	160,000 印刷機リース料等
	報 償 費	140,000 企画推進委員手当 講師謝金等
	消 耗 品 費	160,000 文具等事務全般に係る経費代等
	食 糧 費	50,000 会議時の茶菓代、各種事業のスタッフ茶菓代等
	備 品 費	20,000 パソコン周辺機器
	委 託 費	100,000 芸能祭音響、舞台トラック代等
	借 り 上 げ 料	18,000 軽トラ借り上げ、グラウンド整地燃料代等
	図 書 購 入 費	36,660 新聞購読料等
	通 信 費	45,000 郵便切手、はがき等
	各 所 修 繕 費	50,000 施設改修代等
	事 業 運 営 費	173,260 芸能祭、移動研修助成、フェスタ出店料 各部会費
合計	952,920	

上記のとおり提案いたします。

令和4年4月16日

野木沢地区自治協議会

会 長 有 賀 正 一



令和4年度 敬老会事業収支予算書(案)

【収入】 (単位；円)

区分	収入額（円）	内 訳
地域自治活動交付金	325,000	石川町より
繰越金	96,593	前年度繰越金
合計	421,593	

【支出】 (単位；円)

事業名	区分	予算額（円）	内 訳
敬老会費	消 耗 品 費		
	食 糧 費	300,000	賄い一式等
	借 上 げ 料	26,000	準備トラック借り上げ料等
	通 信 費	5,000	郵便代
	事 業 運 営 費	90,593	下足袋、祝松謝礼、引き出物袋
合計		421,593	

上記のとおり提案いたします。

令和4年4月16日

野木沢地区自治協議会
会 長 有 賀 正 一



令和4年度 まちづくり委員会事業収支予算書(案)

【収入】

(単位：円)

区分	本年度予算額	前年度決算額	増減	内 訳
事業収入		364,697		イチジク販売収入
地域自治活動交付金	1,280,000	1,280,000	0	まちづくり交付金1,200,000円 小和
繰越金	429,405	692,767	△ 263,362	前年度繰越金
雑収入				
合計	1,709,405	2,337,464	△ 628,059	

【支出】

(単位：円)

事業名	区分	本年度予算額	前年度決算額	増減	内 訳
会議費	計	94,000	69,349	24,651	
	全体会（理事会、総会）	24,000			全体会（理事会、総会）
	各部会費	5,000			各部会年2回以上会議（上・下半期）
	U50まちづくり集会事業	60,000			U50まちづくり集会事業 （小・中学生向けイベント）
	人材バンク登録	5,000			人材バンク登録事業
イチジク生産事業費	計	350,000	386,518	△ 36,518	
	イチジク管理費	160,000			イチジク管理費
	作業員手当（販売支援含）	140,000			作業員手当（販売支援含）
	畑借地代	50,000			畑借地代
地区交流事業費	計	150,000	0	150,000	
	のぎさわときめき交流祭事業費	150,000			のぎさわときめき交流祭・野小フェスティバル・文化祭とコラボによる開催
中野部会事業費	計	120,000	100,000	20,000	
	藤田城址整備事業	50,000			藤田城址地の整備事業
	野木沢駅活性化事業（イルミネーション）	70,000			野木沢駅活性化事業（イルミネーション）
曲木部会事業費	計	150,000	203,900	△ 53,900	
	小和清水周辺整備事業	70,000			小和清水周辺及び遊歩道の整備作業 花移植と床作り
	小和清水管理	80,000			小和清水管理

塩沢部会事業費	計	110,000	129,140	△ 19,140	
	鉾石水周辺整備事業	68,000			鉾石水周辺環境整備、草刈、剪定作業、水質検査、つつじ消毒
	禿山遊歩道整備事業	42,000			禿山遊歩道整備
情報発信事業	計	50,000	43,960	6,040	
	インターネット整備費	50,000			情報発信事業（ホームページ運営）レンタルサーバー代
特産品部会事業費	計	350,000	655,337	△ 305,337	
	加工所賃借料	100,000			加工所賃借料
	加工所光熱水道費	150,000			簡易直売所事業（加工所光熱水道費）
	特産品開発	100,000			特産品開発事業（地場産品利用）
子育て支援事業	計	335,000	319,855	15,145	
	野小っ子クラブ	220,000			野小っ子クラブ事業
	育成会 3年生送る会	75,000			子ども育成会事業（中学3年生を送る会）
	学校支援事業	40,000			学校支援事業（希望ヶ丘整備事業）
予備費		405		405	
合計		1,709,405	1,908,059	△ 198,654	

収入金額1,709,405円 -支出金額 1,709,405円 =差引残額0円

上記のとおり提案いたします。

令和4年4月16日

まちづくり委員会
委員長 近 内 光 慶



議案第 5 号 規約の一部改正（案）について

1. 規約改正の目的
- 総会構成の変更及び総会の成立の変更
2. 条文の改定の説明

旧	新
(総会) 第 1 1 条 総会は、本会の最高議決機関であって、理事及び部会員並びに行政区の班長で構成し規約に定める事項のほか、本会の目的を達成するために、必要な事項を審議決定する。 5 総会は、<u>委任状を含めた 2 分の 1 以上の出席</u>をもって成立し、決議は出席者の過半数の同意をもって行う。	(総会) 第 1 1 条 総会は、本会の最高議決機関であって、理事及び部会員で構成し規約に定める事項のほか、本会の目的を達成するために、必要な事項を審議決定する 5 総会は、2 分の 1 以上の出席をもって 成立し、決議は出席者の過半数の同意をもって行う。

附 則 この規約は、令和 4 年 4 月総会の日の翌日から施行する。

野木沢地区自治協議会規約

(目的)

第1条 本会は、野木沢地区の歴史と伝統を大切にし、豊かな自然環境を生かし、地域に暮らす住民がお互い知恵を出し合い、協力し合い、住民自らが魅力あふれる元気な地域づくりに資することを目的とする。

(名称並びに事務所)

第2条 本会は、野木沢地区自治協議会(以下「協議会」という)と称し、事務所を野木沢自治センターに置く。

(事業)

第3条 協議会は、第1条の目的を達成するため次の各号の事業を行う。

- (1) 地域の特性を生かし、地域の課題を解消するために行う事業に関する事。
- (2) まちづくりに関すること。
- (3) 交通安全、防犯、防災に関する事。
- (4) 地域住民の健康と福祉の増進及び子育て支援に関する事。
- (5) 文化、教養の向上に関する事。
- (6) 生涯学習に関する事。
- (7) 児童及び青少年の育成に関する事。
- (8) 自治センター運営に関する事。
- (9) その他、協議会の目的達成のために必要な事。

(構成)

第4条 協議会は、次の各号に掲げるものをもって構成する。

- (1) 野木沢地区に居住する住民。
- (2) 野木沢地区で活動する法人及び各種団体。
- (3) その他、協議会が認めた者。

(役員)

第5条 協議会には、次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
- (2) 副会長 2名
- (3) 監 事 3名

(顧問)

第6条 協議会に顧問を置くことができる。

(役員を選任)

第7条 会長は区長会長、副会長は区長会長以外の区長が務めることとし、総会の承認を経て決定する。

2 顧問は、理事会で選任する。

(役員の任務)

第8条 役員の任務は次のとおりとする。

- (1) 会長は、協議会を代表し会務を総括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長が事故その他やむをえない事情により

職務を遂行できないときは、会長が予め指名した順序によってその職務を代行する。

(3) 監事は、会計及び事業の監査に充たる。

(役員任期)

第9条 役員、理事の任期は1年とする。ただし、再任は妨げない。

2 補欠役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第10条 協議会の会議は、総会、理事会及び部会会議とする。

(総会)

第11条 総会は、本会の最高議決機関であつて、理事及び部会員並びに行政区の班長で構成し規約に定める事項のほか、本会の目的を達成するために、必要な事項を審議決定する。

2 総会は、通常総会及び臨時総会とし、会長が招集する。

3 通常総会は、毎年1回開催し、臨時総会は会長が必要と認めたとき又は、協議会員の3分の1以上の請求があつた場合には、臨時総会を開催することができる。

4 総会の議長は、総会において出席班長のうちから選出する。

5 総会は、委任状を含めた2分の1以上の出席をもって成立し、決議は出席者の過半数の同意をもって行う。

6 総会は、次の事項を審議又は決定する。

- (1) 協議会の事業計画及び予算に関すること。
- (2) 協議会の事業報告及び決算に関すること。
- (3) 協議会の役員の承認に関すること。
- (4) 規約の制定及び改廃に関すること。
- (5) その他、協議会の運営に関すること。

(総会の議事録)

第12条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
- (2) 出席者数（評決委任者を含む）
- (3) 開催目的、審議事項及び議決事項
- (4) 記事の経過の概要及びその結果

2 議事録は、議長及びその会議において選任された議事録署名人2名以上が署名押印し、事務所に備え付けておかなければならない。

(理事会)

第13条 協議会に次の事項を審議及び決定するため、理事会を設置する。

- (1) 地域の様々な課題に関すること。
- (2) 事業計画及び予算並びに事業報告及び決算に関すること。
- (3) やむを得ない事情で総会が開催されない場合、総会機能を代行すること。
- (4) 総会の議決を要しない会務の執行に関する事項を議決すること。

(5) 自治センターの運営に関すること。

(6) 顧問の選任に関すること。

- 2 理事会は、協議会の会長、副会長、部会長、行政区長、企画推進委員長及び顧問並びに事務局をもって構成する。
- 3 理事会は、理事を構成する役員の2分の1以上の出席により成立するものとする。
- 4 必要に応じ、理事会に理事構成員以外の協議会員の出席を求め、意見を求めることができる。

(部会)

第14条 協議会に次の部会を設置する。

- (1) 総務地域づくり部会
- (2) 安全安心部会
- (3) 福祉部会
- (4) 教育学習部会

- 2 各部会は、所属する団体の代表及び構成員をもって構成する。
- 3 各部会は部会長1名、副部会長1名、部会委員数名を選任する。部会事務局は協議会事務局が兼ねる。
- 4 各部会は、部会に所属する団体間の連携を図りながら運営する。
- 5 各部会は、本会の目的を達成するため、担当する業務について企画、立案、部会の責任のもと遂行する。
- 6 部会で対応するのがふさわしい、地域課題について協議し解決を図る。

(事務局)

第15条 協議会の円滑な運営を行うため、事務局を設置する。

- 2 事務局には、事務局員を置く。
- 3 事務局員は、石川町が任命し、庶務、会計を担当する。
また、部会間の調整にあたるなど、会長の補佐を務める。
- 4 自治センター企画推進員は助言、相談などを通して事務局を支援する。
また、地域の行事の際は、実行委員として協力する。

(経費)

第16条 協議会の運営に要する経費は、町からの交付金、補助金及びその他の収入をもって充てる。

- 2 会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年の3月31日に終る。

(監査)

第17条 会長は、事業年度終了後、事業報告書及び収支決算書等を作成して監事に提出し、監査を受けなければならない。

- 2 監事は、前項の書類を受領したときは、これを監査し監査報告書を作成して会長に報告するとともに、会長はその監査報告書を総会に提出しなければならない。

(書類及び帳簿の備付け)

第18条 協議会の事務所には、協議会の事業実施に係る書類、収入及び支出に関する証拠書類並びに帳簿等活動に関する全ての書類を備え付け、公開するものとする。

(個人情報保護の取扱い)

第 19 条 協議会が事業を推進するために必要とする個人情報の取得、利用、提供及び管理については、適正に運用するものとする。

附 則

- 1 この規約は、平成 31 年 1 月 20 日から施行する。

附 則

- 2 協議会の設立初年度の会計年度は、第 16 条第 2 項の規定にかかわらず設立した日から平成 31 年 3 月 31 日までとする。

附 則

- 3 (部会) 第 14 条 協議会の部会を 5 部会から 4 部会に変更の規約は、令和 2 年 4 月 17 日から施行する。

議案第 6 号 役員選任（案）について

◆役 員

役職名	氏 名	備 考
会長	円 谷 和 司	曲木地区行政区長（区長会長）
副会長	二 瓶 清 正	中野行政区長
副会長	有 賀 宏 治	塩沢行政区長
監事	二 瓶 光 正	中野地区行政副区長
監事	相 楽 勝 美	曲木地区行政副区長
監事	曲 山 喜 巳	塩沢地区行政副区長
事務局	近 内 光 慶	野木沢自治センター長
事務局	二 瓶 清 正	野木沢自治センター事務長
事務局	塩 田 紀 子	野木沢自治センター事務員

◆理 事

役職等	氏 名	備 考
会長 総務地域づくり部会長	円 谷 和 司	曲木地区行政区長（区長会長）
副会長	二 瓶 清 正	中野行政区長
副会長	有 賀 宏 治	塩沢行政区長
安全安心部会長	矢 吹 重 光	安全協会分会長
福祉部会長	鈴 木 長 治	民生児童委員方部長
教育学習部会長	二 瓶 伸 一	中野公民館館長
事務局	近 内 光 慶	野木沢自治センター長
事務局	二 瓶 清 正	野木沢自治センター事務長
事務局	塩 田 紀 子	野木沢自治センター事務員
顧問	有 賀 正 一	前行政区長会長

◆総務地域づくり部会

部会長 円谷和司 (曲木行政区長 (野木沢地区区長会長))

副部会長 (自治センター企画委員長)

部会委員

有 賀 宏 治	塩沢行政区長
二 瓶 清 正	中野行政区長
二 瓶 光 正	中野地区行政副区長
相 楽 勝 美	曲木地区行政副区長
曲 山 喜 巳	塩沢地区行政副区長
佐 藤 正 紀	自治センター企画委員
相 楽 美 紀	自治センター企画委員
志 賀 正 敏	自治センター企画委員
二 瓶 光 男	自治センター企画委員
岩 崎 幸 枝	自治センター企画委員
三 瓶 勝 子	自治センター企画委員
草 野 洋 典	自治センター企画委員
矢 吹 正 道	自治センター企画委員
曲 山 正 子	自治センター企画委員
紀 陸 洋 平	自治センター企画委員
草 野 伝 明	町議会議員
近 内 雅 洋	町議会議員
曲 山 吉 徳	営農水利管理調整組合長
関 根 功	集落営農組合
吉 田 和 子	ふじわちゃん代表
近 内 光 慶	野木沢自治センター長 まちづくり委員会委員長
二 瓶 清 正	野木沢自治センター事務長
塩 田 紀 子	野木沢自治センター事務員

◆安全安心部会

部会長 矢吹重光 (安全協会分会長)

副部会長 草野裕 (消防分団長防犯協会野木沢支部長)

部会委員

近 内 栄 紀	消防分団第1部長
矢 吹 義 裕	消防分団第2部長
紀 陸 洋 平	消防分団第3部長
矢 内 直 美	交通安全母の会会長
有 賀 忍	防犯連絡協議会長

◆福祉部会

部 会 長 鈴木長治 (民生児童委員方部長)

副部会長 吉田和子 (心配ごと相談員)

部会委員

近 内 与 四 雄	中野長寿会長
永 山 則 昌	曲木長寿会長 (連合会長)
加 納 武 夫	塩沢長寿会長
長 谷 川 百 合 子	更生保護女性会
近 内 光 子	保健協力委員長
円 谷 和 司	のぎさわの会々長
近 内 光 慶	人権擁護委員

◆教育学習部会

部 会 長 二瓶伸一 (中野公民館館長)

副部会長 草野吉明 (青少年健全育成協会長)

部会委員

未 確 定	中学校 P T A 副会長
永 山 昌 義	曲木公民館館長
近 内 寛 典	塩沢公民館館長
山 崎 正 也	中野育成会会長
永 井 千 絵	曲木育成会会長
紀 陸 洋 平	塩沢育成会会長
佐 藤 真 弓	スポーツ推進委員
草 野 洋 典	スポーツ推進委員
遠 沢 幸 恵	スポーツ推進委員
円 谷 正 光	スポ少代表指導者
近 内 光 慶	野小っ子クラブ

$\sim \times \equiv \sim$ [illegible]